

# 造影 CT 検査説明書

## ・使用方法と目的

造影 CT 検査とは、ヨード系造影剤を血管内に注射して行う検査です。造影剤を使用することで、病気の有無や性質・範囲を、より正確に判断する事が出来るようになります。

## ・副作用について

造影 CT 検査で使用する造影剤は基本的には安全な薬剤ですが、一定の頻度で下記の副作用を生じることがあります。

※軽い副作用：吐き気、嘔吐、動悸、かゆみ、発疹、熱感、注射部位の痛みなどがありますが、基本的には治療を必要としません。

※重篤な副作用：呼吸困難、意識障害、血圧低下、腎不全、気管支けいれん、咽頭浮腫などがあります。このような副作用が発生した場合には、救命処置・入院などが必要となり、場合によっては後遺症が残る可能性があります。また、ごく稀(0.001%以下)に死亡例も報告されています。

※遅発性副作用：検査後数時間から数日後にかけて、発疹、かゆみ、吐き気、むくみ、めまい、頭痛などの症状が発生する場合がありますが、通常は自然に回復します。

## ・副作用が起きた際の対応

軽い副作用は通常、時間の経過とともに症状は治まります。

検査中は医師、看護師、放射線技師が患者様の様子を観察していますので、万一重篤な副作用が発生した場合も、迅速な処置を行えるように万全の体制を整えております。

患者様の状態によっては連携病院への救急搬送を行う場合もあります。

また、遅発性副作用や何らかの異常が現れた場合には当院までご連絡ください。

## ・造影剤が血管外に漏れた場合

稀に造影剤が血管の外に漏れる場合があります。注射部位が腫れたり痛みを伴ったりすることがありますが、ほとんどの場合は時間の経過とともに自然に吸収されますので心配いりません。しかし、漏れた量が非常に多い場合には処置が必要になることもあります。

## ・造影剤の使用に際し注意が必要な方

ヨード過敏。ヨード系造影剤の使用で副作用の既往。気管支喘息の方は重篤な副作用が発生する確率が高いため、原則として造影剤の使用はできません。

また、甲状腺疾患、腎疾患、心臓疾患、肝疾患をお持ちの方、ならびに糖尿病のお薬(グリコラン・メルビン・ネルビス・メデットなど)を飲んでおられる方は造影検査が出来ない場合があります。

## ・検査後の注意

造影剤は尿と共に体外に排出されますので、水・お茶などの水分を日頃より多く摂るようにしてください。医師により水分制限をされている方は医師の指示に従ってください。

糖尿病のお薬(グリコラン・メルビン・ネルビス・メデットなど)を飲んでおられる方は、検査終了後48時間は糖尿病のお薬を服用しないでください。

ヨード系造影剤は母乳中に移行しますので、造影検査後48時間は授乳をしないでください。

## ・造影 CT 検査の承諾撤回について

造影剤の使用を承諾された場合でも、検査前に造影剤に関する承諾をいつでも撤回することができます。造影 CT 検査を受けたくない場合は当院スタッフにお申し出ください。

医療法人 日章会 南鹿児島さくら病院

Tel 099-253-7272